

白山・荒島岳 山行記

荒島岳（日本百名山）2017年9月22日（金） ハンブルクの星（単独）

平日にも拘わらず20～30人くらい登っていた。荒島岳の有名なブナは見事な樹林帯で気持ち良かった。中腹から山頂までは強風が吹き荒れていた。稜線上では時折突風もあり、吹き飛ばされないように注意して歩を進めた。もちが壁では鎖、階段が続く急登だったがさほどきついとは感じなかった。

山頂(1524m)では40分位滞在したが、ガスは多いものの展望はあり、白山、別山、能郷白山、御嶽山も遠望出来た。下山の途中、しゃくなげ平から雨が降り出すが30分程度で止んだ。全般としていい森林浴が出来た。下山後は勝山温泉の「水芭蕉」で入湯。

【コースタイム】

8:45 荒島岳登山口（勝原スキー場跡）駐車場到着 9:00 同、出発
10:45 白山ベンチ 11:40 しゃくなげ平 12:30～13:10 荒島岳山頂
13:50 しゃくなげ平 14:40 白山ベンチ 15:30 登山口に戻る





白山（日本百名山） 9月23日（土）～24（日） ハンブルクの星 他、非会員3名

白山には前回は岐阜県側の平瀬道ルートで日帰りピストンで登頂したが、今回は福井県側からの砂防新道ルートで、室堂センターで一泊して登頂した。

翌朝は御前峰山頂（2702m）からご来光を拝み、翠ヶ池、千蛇ヶ池などのお池めぐりをした。室堂から山頂までは富士登山のようにヘッドランプの光の列がずっと続いていた。山頂からは穂高連峰、槍ヶ岳、乗鞍岳、御嶽山を遠望、そして眼前にはどっしりした別山、前日登頂した荒島岳、更に能郷白山、大日ヶ岳、経ヶ岳、三方崩山、三方岩岳など白山周辺の山々もくっきり眺望出来た。下山はエコーラインを経て別当出合登山口へ戻った。

弥陀ヶ原はチングルマやナナカマドの草紅葉が始まっていて緑と紅葉、青空のコントラストが素晴らしかった。登山者は500～600人くらいか、北アルプス並みの大混雑ぶりに驚かされた。

【コースタイム】

9月23日（土） 曇りのち晴れ

9:00 市ノ瀬バス停で同行者（友人）と合流。9:30別当出合登山口出発

11:50～12:30 甚之助避難小屋 13:00～13:15 黒ボコ岩 14:30 室堂センター到着

9月24日（日） 晴れ

4:30 小屋出発 5:00 御前峰山頂 5:00～6:00 ご来光待機し鑑賞

6:00～7:40 お池めぐり 9:00 室堂出発 10:50～11:30 甚之助避難小屋

13:20 別当出合登山口に戻る。

ハンブルクの星 記



